

4月12日(水) 朝礼のお話

今日は「西東京市平和の日」

学校が始まって2週目も真ん中まで来ました。新しい生活にはもう慣れましたか? 「まだ毎日ちょっと緊張するなあ。」なんて人もいると思います。でも心配することはありません。まだまだ新学期は始まったばかり、それぞれのペースでゆっくりやっていけばいいですからね。

さて、今日は朝の時間を使って「西東京市平和の日」についてお話ししたいと思います。実は今日、4月12日は西東京市が決めた「平和の日」です。まずはどうして今日が平和の日に決まったかをお話ししたいと思います。

今から78年前、昭和20年のことです。そのころ日本はアメリカやイギリスなどの国を相手に長い戦争をしていました。そしてこのころになると日本では空襲と言って飛行機から爆弾を落とす攻撃を受けるようになっていました。3月には東京の中心で大空襲があって一晩で10万人もの人が亡くなるような被害をうけていました。そして西東京市の近く、このけやき小から歩いて行けるくらいのところには戦争のための飛行機を作る大きな工場がありました。4月12日、この工場を狙った爆撃が行われました。でもそのころの爆撃はあまり正確に攻撃ができるものではなかったので、目標の工場以外のところにも爆弾が落ちてしまいました。そのうちの一発が今の田無駅の近くに落ちてしまい、50人以上の人が亡くなるという出来事がおこってしまいました。そのころこの近くは畑が多くて爆撃の目標になるようなところはなかったので、この爆弾の被害はとても大きなものとして町の歴史に残っています。

西東京市ではこのできごとを長く忘れずに、平和の大切さを考える日として「西東京市平和の日」とすることになりました。

この平和の日に校長先生からけやき小のみなさんにぜひ考えてほしいことがあります。今、私たちは何気なく毎日の暮らしをしていますね。朝、お家で目が覚めてご飯を食べて学校に来る。

学校ではみんなと勉強したり遊んだり、給食を食べたりして楽しく過ごしています。学校が終わったら友達と遊んで、夕方になったら自分の家に帰る。この当たり前の暮らしは平和な世の中であるからこそです。もし、日本が戦争をしていたらこの当たり前の暮らしは簡単になくなってしまいます。高学年の人はウクライナでの戦争のことは知っていますね。ウクライナだけでなく、世界中では今の今も戦争の日々をおくっている国がたくさんあります。そこでは皆さんのような「当たり前の暮らし」はありません。だから私たちの今の当たり前は世界では当たり前のことではないのです。そして日本ではこの平和の日々が78年も続いています。こんなに長い間、一度も戦争をしてない国は世界でもほんの少ししかありません。これは日本が世界に自慢できる素晴らしいさだだと思います。でもそれは自然にそうなったわけではありません。この78年間、たくさんの方が平和を守るために懸命な努力をしてくれたおかげです。それをぜひ忘れないでください。そしてあなたもこの日本の平和をこの先ずっとずっと、100年も200年も守っていく人になってほしいと思います。

今日は「西東京市平和の日」についてお話をしました。最後まで一生懸命聴いてくれてありがとうございます。今日の校長先生のお話を終わります。